

# HONDA顧客に対してCRMメール送信プログラム

---

## 送信先の設定

送信先はスプレッドシートで管理しています。

[HONDA\\_CRM\\_対象](#)のシート[送信対象](#)

送信対象から削除する場合は、その行を削除、  
送信対象を増やす場合は、末尾に行を追加してください。

上記のシートは、編集する際に警告を出すように設定していますが、意図していない編集を防ぐ目的なので、編集していただいても大丈夫です。

アクセスが弾かれる場合は、[SFPJ](#)のアカウントを利用して確認してみてください。

## メール送信

1. デスクトップ上にある フォルダ[HONDA\\_CRM](#) にアクセス
2. フォルダ内にある [HONDA\\_CRM\\_データセット.bat](#) をダブルクリック ファルダ内の[TRAN\\_DATA](#)配下に当日付のフォルダが作成されます
3. 作成された当日付のフォルダにアクセス  
フォルダの場所 [TRAN\\_DATA/{year\\_month\\_date}](#)  
フォルダ内には宛先リスト[mail\\_status.csv](#)、メールの件名を設定する[subject.txt](#)、紹介するパーツ名を設定する[parts\\_name.txt](#)が作成されます

## ユーザ設定部分

4. メールの件名を[subject.txt](#)内に記述する
5. 紹介するパーツ名(黒い線で挟まれた部分)を[parts\\_name.txt](#)内に記述する  
改行を含める場合は<br>を改行の代わりに含めてください。
6. [TRAN\\_DATA/{year\\_month\\_date}](#)配下に添付したい画像をファイル名[mail](#)で、ファイル形式を[png](#)にして配置。

## メール自動送信部分

7. [HONDA\\_CRM](#)配下に移動
8. [HONDA\\_CRM\\_メール送信.bat](#)をダブルクリック
9. 1通目はOutlookのアプリでプレビュー表示されるので、それを確認して問題がなければ、メールのプレビューを閉じる
10. そのまま送信を続ける場合は、黒い画面でyを打ち込み、[Enter](#)を押してください

## 注意点

- bat処理 [HONDA\\_CRM\\_データセット.bat](#)と[メール自動送信.bat](#)の2つは同一日に実行するようにしてください。  
実行できなかった場合は、最初からやりなおすようにしてください。
- メールフォーマットなどを、変更したい場合は、[藤原](#)に連絡してください。  
すぐしたければ、メール本文は[HONDA\\_CRMメール送信/MASTER\\_DATA/mail.html](#)を変更すればいい

す。

- CCを含めずにメールを送信したい場合は、`HONDA_CRM/MASTER_DATA/.env`ないの`CC_FLG = False`に変更してください。
- `connect_google_servive.json`はGoogleアカウント`SFPJ`のGoogle Cloud Platformのプロジェクト`marketing-crm`から取得することが可能です。  
一応隠してます。